

求人動向 (ハローワーク飯能管内)



ハローワーク飯能
(042-974-2345)

目次

- 1. 求人倍率動向 P. 3~5
- 2. 求人の動向 P. 6~8

1. 求人倍率動向



1) 求人倍率

- ・求人倍率とは、求人数(仕事の数)を 求職者数(仕事を探している人の数)で割ったものです。

$$\frac{\text{求人数}}{\text{求職者数}} = \text{求人倍率}$$

求人数が多ければ求人倍率の数値がを大きくなります。例えば、求人数が「200」、求職者数が「100」とすると、 $200 \div 100 = 2.0$ となり、求人倍率は「2.0」となります。

求人倍率の数値が高いほど、企業が人を探していることが多く(人手不足⇒買い手市場)、求人倍率の数値が低いほど、仕事を探している人が多い(人手余剰⇒売り手市場)。

※ニュースによく出てくる「新規求人倍率」、「有効求人倍率」は次のページをご覧ください。

1. 求人倍率動向



2) 新規求人倍率

- ・当月に申し込まれた求職者数と当月に受付られた求人数を用いて計算されます。

$$\frac{\text{新規求人数}}{\text{新規求職者数}} = \text{新規求人倍率}$$

3) 有効求人倍率

- ・前月から繰り越された有効求職者数、有効求人数に上記の当月に申し込まれた求職者数、求人数を用いて計算されます。
(ハローワークを通じた求人、求職に限定されており、新規学卒者は除かれています。)

※どちらも国内の景気判断の重要指標とされています。

1. 求人倍率動向



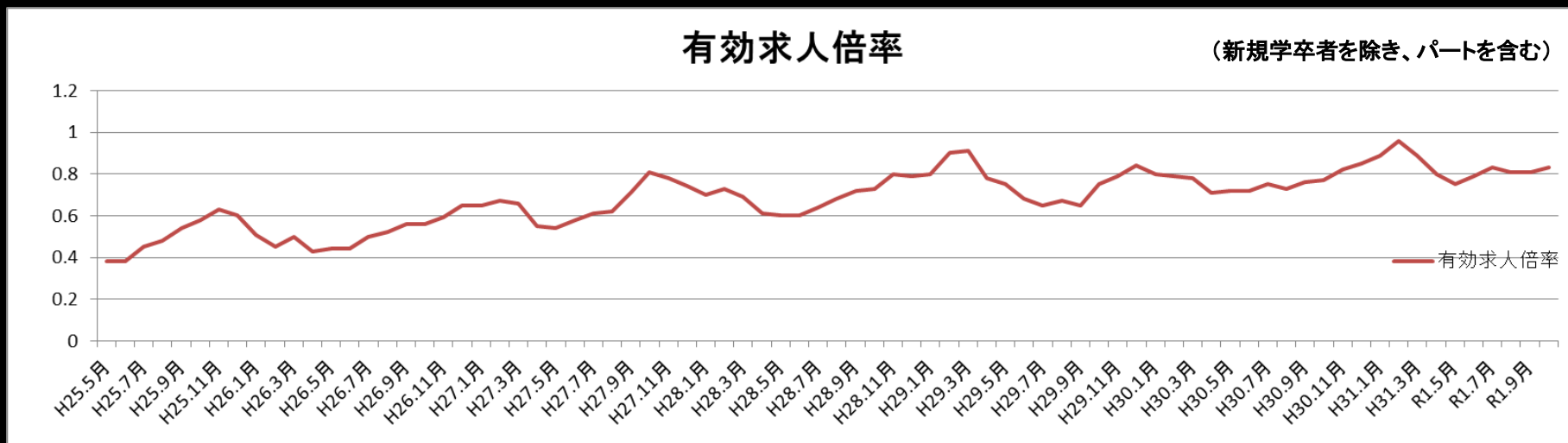
4) ハローワーク飯能管内

- ・ハローワーク飯能管内とは、下記市町村を指します。

飯能市、入間市(仏子、野田、新光)、日高市、毛呂山町、越生町

5) ハローワーク飯能管内の有効求人倍率 (新規学卒者を除きパートを含む)

- ・平成25年5月の「0.38」でしたが、平成31年2月に「0.96」と約2.5倍となり、令和元年10月では「0.83」となっています。



2. 求人の動向



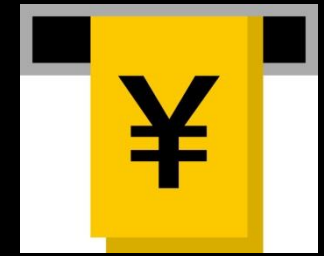
1) ハローワーク飯能管内の求人の動向

- ・令和元年10月データから求人の詳細を見ると、職業によって人手余剰、人手不足の状況になっているのが分かります。

	10月の全求人数 に対する割合	有効求人倍率	
専門・技術職	21.8%	0.82	人手余剰の状況
事務職	10.7%	0.30	人手余剰の状況
販売職	4.7%	0.48	人手余剰の状況
サービス職	18.2%	1.30	人手不足の状況
保安職	4.0%	3.80	人手不足の状況
運輸職	7.4%	1.03	
技能工・製造工	17.4%	1.25	人手不足の状況

(※常用の求人での主な職業のみ掲載)

2. 求人者の動向



2) ハローワーク飯能管内の求人者の賃金動向

- ・令和元年10月データから新規求人に係る賃金情報で、求人者が記載した賃金の平均額(常用求人者の平均額)を見ると下記のようになっています。

	単位(円)
職業計	235,000
管理的職業	304,000
専門的・技術的職業	271,000
事務的職業	221,000
販売の職業	231,000
サービスの職業	205,000
保安の職業	275,000
生産工程・労務の職業	235,000
輸送・機械運転の職業	237,000
建設・採掘の職業	260,000

始めの一步は小さな一步から。

